

「健康都市弘前」推進企業の東弘電機株式会社様が取り組む受動喫煙防止対策のご紹介



禁煙支援等、
健康づくりに
取り組んでいます。



従業員の禁煙支援の取組

当社は建設業を営んでおり男性9割、平均年齢47歳となっております。喫煙者は3.3割となっております。若い社員の喫煙者は減少傾向にありますが、中途採用者に喫煙者が多く、禁煙を勧めても「禁煙したくてもできないです。」という声をよく聞きます。上司のそばにいて喫煙するようになった社員が肺の病気を患い、周囲に良くない、

社員の健康を守りたいと思っていたところ、保健所が実施していた空気クリーン施設認定を受け、社内、社用車を全面禁煙にすることにしました。また業務時間内での禁煙外来の通院を許可していますが、利用がない状況です。

禁煙支援の今後

社用車は、喫煙者のみでなく喫煙しない社員も利用します。喫煙しない社員に悪いなと思い1台1台を車内がたばこ臭くないか灰皿がないかチェックして、全面禁煙としています。たばこは依存が強いと聞きます。禁煙したくてもできないという状況を知っていたら、無理やり全面禁煙にできなかったと思います。今後も、禁煙外来利用をすすめ、家族のためにも禁煙する社員を増やしたいです。

その他の健康づくりの取組

職場のがん（胃・肺・大腸）検診を受診し、精密検査が必要な社員には皆に受診させています。従

業員の家族にも検診の助成をしています。

協会けんぽからの新聞は社内で回覧しています。誰でも知ってる、同じ内容でも忘れていることもあると思い回覧しますが、結構きちんと見ている様子で、ほっとします。

何度も禁煙に関する記事を回覧して気がとがめることもありますが、社員に禁煙することは健康づくりのきっかけの一つと常に認識してほしいと思います。

スポーツジムに行っている社員もいます。

マラソン大会に出場する社員も増え今年はおもり桜マラソンに2名、アップルマラソンに3名参加し、会社のロゴ入りのポロシャツを着て頑張ってくれました（写真）。これからも運動面での健康意識を高めてもらいたいと思います。

※R7.3.6 常務取締役 成田依子 様へインタビューしました。